

〔論文〕

J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

樋口 勇夫

名古屋学院大学国際文化学部

要 旨

幾つかのJ-POP広東語カバー曲では、オリジナル曲の楽音の高さを、ある特定の音符だけ個別に変えてあり、それはその音符に対応する歌詞の漢字の声調と関係がありそうである。

拙稿「(1)～(5)」(2010～2014)にて、1984年から2010年のJ-POP広東語カバー曲、計50曲を例にその様相を探り、拙稿「まとめ(その1)・(その2)」(2015a・2015b)にて50曲のまとめを行なった。拙稿「(6)」(2016)にて、オリジナル曲の楽音の高さを、広東語カバー曲では下降する2楽音に変えてあり、且つ、その歌詞の漢字声調が「第1声(陰平)」の場合について、同一歌手が歌っている共通語カバー曲と比較することにより、広東語カバー曲特有の様相を探った。その後、引き続き拙稿「(7)」(2018)にて、新たに10曲、これまでに計60曲を分析した。

本稿では、1977年から2007年までのJ-POP広東語カバー曲10曲を例に、引き続きその様相を探る。

キーワード：声調, 楽音, 広東語, カバー曲, J-POP

The influence of Chinese character tones on the musical sounds in some Cantonese versions of Japanese pop songs (8)

Isao HIGUCHI

Faculty of Intercultural Studies
Nagoya Gakuin University

0. はじめに

本稿では、拙稿「(1)～(5)」(2010～2014) および「(7)」(2018) に引き続き、それらとは別のJ-POP広東語カバー曲10曲を対象に、調査を行なった。

0.1 広東語の声調

広東語の声調は表1の通り¹⁾。

表1

				-p, -t, -k 韻尾	
調類	陰平	陰上	陰去	上陰入	下陰入
千島式ローマ字声調No.	第1声	第2声	第3声	第1声	第3声
調値	□55 (～□53) ²⁾	□35	□33	□5	□33
調値の型	高平 (～高降) ²⁾	高昇	中平	高平	中平
調類	陽平	陽上	陽去	陽入	
千島式ローマ字声調No.	第4声	第5声	第6声	第6声	
調値	□21	□23	□22	□2 / □22	
調値の型	低降	低昇	低平	低平	

0.2 拙稿「(7)」(2018) までにおける調査結果

拙稿「(1)～(5)」(2010～2014) および「(7)」(2018) にて、1984年から2010年までのJ-POP広東語カバー曲、計60曲³⁾を調査し、以下のことがわかった。

広東語カバー曲で楽音の高さを変えてある場合は、次の幾つかのタイプに分類できる。(〔 〕内は各タイプの略称。)

1. 当該音節の声調と関係がある。

1.1 音節末調値がオリジナルの楽音の高さに合わない。

1.1.1 [その1音節] その1音節の高さを変える。

1.1.2 [数音節] 前後数音節をまとめて高さを変える。

1.1.3 前後数音節をまとめて、高さだけでなく、リズムまで変える。

1.1.3.1 [別部分 (有)] 同じ曲の別の部分を転用する。

1.1.3.2 [リズム] 比較的大胆に新たなリズムを創作する。

1.2 [陰平53] 「第1声 (陰平)」の高降調の方の調値「□53」に合うように、下降する2楽音に変える。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

- 1.3 [陰上35]「第2声(陰上)」の上昇調の調値「☐35」に合うように、上昇する2楽音に変える。
 - 1.4 [陽上23]「第5声(陽上)」の上昇調の調値「☐23」に合うように、上昇する2楽音に変える。
 - 1.5 [音程] 直前／直後の音節との音程が広すぎる／狭すぎるので、適切な音程に調整してある、と考えられる。
 - 1.6 [加える] オリジナルには無い楽音を加える。
2. 当該音節の声調と関係が無い。
- 2.1 [一楽音に] 上昇／下降する2(～3)楽音を1楽音に変える。
 - 2.2 [向かう] 直後の、より高い／低い楽音に向かうため、オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を、カバーでは上昇／下降する2(～3)楽音に、或いは、直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に、それぞれ変えてある、と考えられる。
 - 2.3 [消失音] オリジナルにおける直前／直後の音を変えた結果、オリジナルのメロディーラインから消失した音を補うために、二次的に、オリジナルにおける直前／直後の音に変えてある、と考えられる。
 - 2.4 [音程保つ] オリジナルにおける直前／直後の音を変えた結果、オリジナルにおけるその音との音程を保つために、二次的に変えてある、と考えられる。
 - 2.5 [別部分(無)] 同じ曲の別の部分を転用する。
 - 2.6 [不明] 目下のところ、理由不明。

0.3 調査対象とした曲

調査対象とした曲は、表2の通りである。

「No.」欄は、本稿で扱う順で、広東語カバー曲の発表年順（広東語カバー曲の発表年が同じ場合は、オリジナル曲の発表年月日順）。

「調」欄の、大文字はMajor（長調）を、小文字はminor（短調）を、それぞれ表わす。

カバー曲の「調」欄の網掛けは、オリジナル曲と異なることを示す。

表2

No.	カバー曲				オリジナル曲			
	年	曲	調	歌手	年	曲	調	歌手
1	1977	心曲	e	甄妮	1977	勝手にしやがれ	a	沢田研二
2	1978	六月天	B ^b	陳秋霞	1975	木綿のハンカチーフ	A	太田裕美
3	1982	紫玉墜	f [#]	張德蘭	1979	さよなら	e	オフコース
4	1984	初戀	c [#]	林志美	1983	初恋	b ^b	村下孝蔵
5	1987	讓一切隨風	g	鍾鎮濤	1975	時の過ぎゆくまに	e	沢田研二
6	1987	手掌上的電話號碼	C	露雲娜	1984	元気を出して	C	葉師丸ひろ子

1.3

A' (2~5小節目)

⑥	⑦ ⑧
いことばかりじゃないと おもいで かきあつめ かば	
⑥	⑦ ⑧
你在聽 我在心曲 低詠 寒夜 有一你 那管風 凄勁 求求	
□□ □ □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
3 2 5 3 2 5 5 5 2 1 2 <u>23</u> <u>23</u> 3 5 5 5 2 1 1	

⑥「詠 wing⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「sol・fa[#]」をカバーでは1楽音「fa[#]」に変えてある。

⑦「有 yau⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「sol」をカバーでは上昇する2楽音「fa[#]・sol」に変えてある。

⑧「你 nei⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「sol」をカバーでは上昇する2楽音「fa[#]・sol」に変えてある。

1.4

A' (6~9小節目)

⑨	⑩	⑪	⑫
んに つめこむ けはいがしてる			
⑨	⑩	⑪	⑫
月老 前來 做證 愛意 虔誠 復凄 貞一			
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
2 3 1 1 2 3 3 3 1 1 2 5 <u>53</u>			

⑨「愛 oi³ □」(音節末調値3)は、直前の「證 zhing³ □」(同3)の「re」と同じ高さに揃えるように、

2. 陳秋霞 1978 「六月天」(太田裕美 1975 「木綿のハンカチーフ」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・B・A'・B'・A"に分ける。

2.1

A (1~4小節目)

こいびとよ ぼくはたびたつー

與你到海邊 悠悠漫步六月天

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

3 3 3 5 5 1 1 2 2 2 2 5

①「天 tin¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「do[#]・re」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

2.2

A (5~8小節目)

ひがしへーとむかうれっしやーで はなやいだま

浪似細沙一軟 心一裡有千一言 別一後一問何

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 3 3 53 3 53 3 3 53 1 2 2 2 1

②「沙 sa¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オ

に変えてある。

⑫「千 chin¹ □」(音節末調値5)は,オリジナルの上昇する2楽音「do[#]・re」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

2.9

B' (2~5小節目)

⑬		⑭		⑮	
え ほしーの ダイ ヤ も う みにねむるしんじゅも					
⑬		⑭		⑮	
飛 飛 不 倦 萬 千 里 一 盼 珍 惜 我 一 的 懷 一 念					
□ □ □ □ □ □		□ □ □ □ □ □		□ □ □ □ □ □	
5 5 5 2		2 5 23		3 5 523 5 1 2	

⑬「不 bat¹ □」(音節末調値5)は,オリジナルの下降する2楽音「si^b・re」をカバーでは1楽音「si^b」に変えてある。

⑭「里 lei⁵ □」(音節頭末調値23)は,「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように,オリジナルの2楽音「mi^b・mi^b」をカバーでは上昇する2楽音「re・mi^b」に変えてある。

⑮「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)は,「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように,オリジナルの3楽音「fa・fa・fa」をカバーでは上昇する2楽音「mi^b・fa」に変えてある。

3.1

A (1~2小節目)

①~②

もう おわり ー だ ね

① ②

紫 玉 墜 還 它 給 我 ー

□ □ □ □ □ □

5 2 2 1 5 5 23

①「給 kap¹ □」(音節末調値5)・②「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)の前半は、相互の音程が「長2度」⁴⁾では狭すぎるので、少し広げて「完全5度」⁵⁾になるように、それぞれ、オリジナルの2楽音「mi・fa[#]」をカバーでは1楽音「sol[#]」に上げ、オリジナルの「mi」をカバーでは「do[#]」に下げている、と考えられる。

3.2

A (3~4小節目)

③ ④

き み が ち い さ く み える

③ ④

紫 玉 墜 原 來 是 你 所 ー ー 戴 過

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

5 2 2 1 1 2 3 35 3 3

③「原 yün⁴ □」(音節末調値1)は、直後の「來 loi⁴ □」(同1)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「do[#]」として加えている。

④「所 so² □」(音節頭末調値35)の前半は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、

オリジナルの下降する2楽音「la・sol[#]」をカバーでは上昇する2楽音「sol[#]・la」に変えてある。
後半は、直後の「mi」というより低い楽音に向かうため、「mi」に下げてある、と考えられる。

3.3

A' (4~5小節目)

⑤

の ま ま ひ と り に し て ー

⑤

紫 玉 墜 含 情 義 很 ー ー 多

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

5 2 2 1 1 2 35 5

⑤「很 han² ☐」(音節頭末調値35)の前半は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの下降する2楽音「la・fa[#]」をカバーでは上昇する2楽音「sol[#]・la」に変えてある。
後半は、直後の「sol[#]」というより低い楽音に向かうため、「sol[#]」に下げてある、と考えられる。

3.4

A'' (2~3小節目)

⑥ ⑦ ⑧

く ら は じ ゅ う ー だ ね

⑥ ⑦ ⑧

紫 玉 墜 從 此 不 配 你 ー 你

☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

5 2 2 1 5 5 3 23 3

⑥「不 bat¹ ☐」(音節末調値5)は、直後の「配 pui³ ☐」(同3)の「mi」との音程が「長2度」⁶⁾

3.6

B (2~3小節目)

なら さよなら さよなら もうす

很多 難查清楚 無疑也有 附一和 曾令

5 5 1 1 5 5 1 1 3 3 2 1 1 2

⑫「附 fu⁶ □」(音節末調値2)の前半は、直前の「有 yau⁵ □」(同3)の「la」より低くなるように、カバーでは「sol[#]」として加えてある。

後半は、直後の「fa[#]」というより低い楽音に向かうため、「fa[#]」に下げている、と考えられる。

⑬「和 wo⁴ □」(音節末調値1)は、直前の「附 fu⁶ □」(同2)の前半の「sol[#]」より低く、且つ、直後の「曾 chang⁴ □」(同1)の「fa[#]」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「fa[#]」として加えてある。

3.7

B (8~9小節目)

そのままの一きみだーけ

個個也知道你負了一我

3 3 3 5 3 3 2 23 3

⑭「知 zhi¹ □」(音節末調値5)は、直前の「也 ya⁵ □」(同3)の「la」や直後の「道 dou³ □」(同

3) の「la」より高くなるように、オリジナルの「la」をカバーでは「si」に上げてある。

⑮「道 dou³ ㄩ」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・si」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

⑯「你 nei⁵ ㄩ」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「la・sol[#]」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

3.8

A''' (1~2小節目)

⑰										⑱									
あ い は										か な し ー い ね									
⑰										⑱									
小 玉 墜										若 認 真 一 看 過 冷									
☐ ☐ ☐										☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐									
5 2 2										2 2 53 3 3 3									

⑰「若 yök⁶ ㄩ」(音節末調値2)は、直後の「認 yin⁶ ㄩ」(同2)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「do[#]」として加えてある。

⑱「冷 lāng⁵ ㄩ」(音節末調値3)は、直前の「過 gwo³ ㄩ」(同3)の「mi」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「mi」として加えてある。

3.9

A''' (3~4小節目)

①⑨ ②⑩ ③⑪

ぼくのかわりにきみが

脂 - 欲滴 如 荷 葉 長 花 - 朵 -

□ □ □ □ □ □ □ □ □

53 2 2 1 1 2 5 53 35

①⑨「脂 zhi¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa[#]」をカバーでは下降する2楽音「fa[#]・do[#]」に変えてある。

②⑩「如 yü⁴ □」(音節末調値1)は、直後の「荷 ho⁴ □」(同1)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「do[#]」として加えてある。

③⑪「朵 do² □」(音節末調値5)の後半は、3音前の「長 zhōng² □」(同5)の「sol[#]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「mi」をカバーでは「sol[#]」に上げてある。

前半は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、後半の「sol[#]」より低くなるように「fa[#]」に下げてある。

3.10

A''' (7~8小節目)・A'''' (1~3小節目)

ねむる かもしれな い

ぼくが てれる 一 から

嬌 滴 地 聲 一 於 愛 一 荷 你

休 造 夢 從 此 得 到 我 一 我

②「你 nei⁵ □」(音節末調値3)は、直後の「休 yau¹ □」(同5)の「fa[#]」より低くなるように、カバーでは「mi」として加えてある。

③「得 dak¹ □」(音節末調値5)は、直後の「到 dou³ □」(同3)の「mi」との音程が「長2度」⁶⁾では狭すぎるので、少し広げて「長3度」⁷⁾になるように、オリジナルの2楽音「mi・fa[#]」をカバーでは1楽音「sol[#]」に上げてある、と考えられる。

④「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「mi」をカバーでは上昇する2楽音「do[#]・mi」に変えてある。

⑤「我 ngo⁵ □」(音節末調値3)は、直前の「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)の後半「mi」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「mi」として加えてある。

3.11

A''' (4~5小節目)

②⑥ ②⑦ ②⑧									
だ れ も み て い な い み ち を よ り									
②⑥ ②⑦ ②⑧									
早 言 明 難 原 諒 你 欺 騙 我 一 那									
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □									
5 1 1 1 1 2 3 5 3 23 3									

②⑥「你 nei⁵ □」(音節末調値3)は、直前の「諒 lǒng⁶ □」(同2)の「fa[#]」より高くなるように、カバーでは「la」⁵として加えてある。

②⑦「騙 pin³ □」(音節末調値3)は、直前の「欺 hei¹ □」(同5)の「sol[#]」より低くなるように、オリジナルの2楽音「la・sol[#]」をカバーでは1楽音「mi」に下げてある。

②⑧「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの2楽音「mi・mi」をカバーでは上昇する2楽音「do[#]・mi」に変えてある。

3.12

B' (2~3小節目)

②⑨ ③⑩~③⑪									
な ら さ よ な ら さ よ な ら も う す									
②⑨ ③⑩ ③⑪									
不 可 如 何 不 可 從 此 再 無 負 一 荷 玉 一									
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □									
5 5 1 1 5 5 1 5 3 1 2 2 2									

②⑨「此 chi² □」(音節末調値5)は、直前の「從 chung⁴ □」(同1)の「mi」や直後の「再 zhoi³

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

㊦ (同3) の「la」より高くなるように、オリジナルの「mi」をカバーでは「si」に上げてある。
 ㊦「負 fu⁶ ㊦」(音節末調値2)・㊦「荷 ho⁶ ㊦」(同2)は、Bメロ3小節目㊦「附 fu⁶ ㊦」(同2)・
 ㊦「和 wo⁴ ㊦」(同1)の3楽音「sol[#]・fa[#]・fa[#]」を転用して、カバーでは3楽音「sol[#]・fa[#]・fa[#]」
 として加えてある、と考えられる。

3.13

B' (6~7小節目)

㊦「休 yau¹ ㊦」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、
 オリジナルの1楽音「si」をカバーでは下降する2楽音「si・la」に変えてある。

3.14

B' (8~9小節目)

③③「刻 hak¹ □」(音節末調値5)は、直前の「這 zhe⁵ □」(同3)や直後の「你 nei⁵ □」(同3)の「la」より高くなるように、オリジナルの「la」をカバーでは「si」に上げてある。

③④「莫 mok⁶ □」(音節末調値2)・③④「説 sùt³ □」(同3)・③⑤「愛 oi³ □」(同3)は、音節末調値「2・3・3」に合うように、オリジナルの4楽音「si・la・sol[#]・sol[#]」をカバーでは3楽音「sol[#]・la・la」に変えてある。

3.15

A^{'''} (1~2小節目)

そ と は きょう も ー あ め							
小	玉	墜	從	此	摔	破	你
□	□	□	□	□	□	□	□
5	2	2	1	5	5	3	3

③⑦「摔 söt¹ □」(音節末調値5)は、直後の「破 po³ □」(同3)の「mi」との音程が「長2度」⁶⁾では狭すぎるので、少し広げて「長3度」⁷⁾になるように、オリジナルの2楽音「mi・fa[#]」をカバーでは1楽音「sol[#]」に上げてある、と考えられる。

③⑧「你 nei⁵ □」(音節末調値3)は、直前の「破 po⁵ □」(同3)の「mi」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「mi」として加えてある。

3.17

A'''' (7~8小節目)

④⑤	④⑥
ふ り つ も る だ ろ う	
④⑤	④⑥
君 若 是 我 一 又 如 何	
□ □ □ □ □ □ □	
5 2 2 <u>23</u> 2 1 1	

④⑤ 「是 si⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「若 yök⁶ □」(同2)の「fa[#]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do[#]」をカバーでは「fa[#]」に下げている。

④⑥ 「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「si」をカバーでは上昇する2楽音「la・si」に変えている。

オリジナルの1楽音「re[#]」をカバーでは下降する2楽音「re[#]・si」に変えてある。

4.3

C (2～5小節目)

ごーのこ うて ーいを はしる ーーきーみがいた ー とおく

都ー 盼望 跟 他 一 見面 默默地 佇 候亦 從來沒 怨 分 分 鐘

53 3 2 5 53 3 2 2 2 2 3 2 2 1 1 2 3 5 5 5

③「佇 zhù⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「mi・do[#]」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

④「亦 yì⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「候 hau⁶ □」(同2)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si[#]」をカバーでは「do[#]」に上げてある。

⑤「怨 yùn³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「re[#]・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

4.4

C (6～9小節目)

でぼくは い つーでも きみをーさがした ー

都ー 渴望 與 他一 相見 在路上 碰一著亦樂上幾天一 一

53 3 2 3 53 5 3 2 2 2 3 2 2 2 3 5 5

⑥「他 ta¹ □」(音節頭末調値53)の後半は、オリジナルの「fa[#]」のまま変える必要がなかったが、前半の「si」から、直後の「fa[#]」という、より低い楽音に向かうため、渡りとなる1楽音として、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「sol¹」に上げてある、と考えられる。

⑦「在 zhoi⁶ □」(音節末調値2)は、直後の「路 lou⁶ □」(同2)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、カバーでは「do[#]」として加えてある。

⑧「樂 lok⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「亦 yik⁶ □」(同2)の「do[#]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「mi」をカバーでは「do[#]」に下げている。

5. 鍾鎮濤 1987「讓一切隨風」(沢田研二 1975「時の過ぎゆくままに」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・B'に分ける。

5.1

A (3~4小節目)

つかれて しまいー いきてる こと さ え									
吹 失 - 了 - 夢 事 未 過 去 就 已 失 - 蹤									
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □									
5 5 23 2 2 2 3 3 2 3 5 5									

①「失 sat¹ □」(音節末調値5)の後半は、オリジナルの「do」のまま変える必要がなかったが、直後の「la」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「do」を「si^b」に下げている、と考えられる。

②「了 liu⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「si^b」をカバーでは上昇する2楽音「la・si^b」に変えている。

③「夢 mung⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの下降する2楽音「si^b・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えている。

5.2

A (5小節目)・A' (1~2小節目)

④	⑤	⑥
いやだと ないたー こわ れた ピア ノで		
④	⑤	⑥
此 刻 有 種 種 心 痛 心 中 心 中 一 切 似 一 空		
<input type="checkbox"/>		
5 5 3 5 5 5 3 5 5 5 5 5 3 <u>23</u> 5		

④「種 zhung² 」(音節末調値5)は、直後の「種 zhung² 」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「si^b」をカバーでは「do」に上げてある。

⑤「痛 tung³ 」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する2楽音「re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

⑥「似 chi⁵ 」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「do」をカバーでは上昇する2楽音「si^b・do」に変えてある。

5.3

A' (3~4小節目)

⑦	⑧	⑨	⑩
おもいで のうたー かたてで ひいては			
⑦	⑧	⑨	⑩
天 黒 天 光 都 似 一 夢 迷 迷 惘 惘 聚 滿 心 一 中			
<input type="checkbox"/>			
5 5 5 5 5 <u>23</u> 2 1 1 3 3 2 3 <u>53</u> 5			

⑦「光 gwong¹ 」(音節末調値5)は、直前の「天 tin¹ 」(同5)の「do」と同じ高さに揃え

5.5

B' (3~4小節目)

⑮	⑯										
											
しあわせ だよと ふたり つめたい											
⑮	⑯										
											
只因空虚一再作弄 你似北风 吹走我梦											
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>											
5 5 5 <u>53</u> 3 3 1 3 3 5 5 5 5 3 2											

⑮「虚 hōu¹ □」(音節頭末調値53)は、「第1声(陰平)」の高降調の方の調値に合うように、オリジナルの1楽音「sol」をカバーでは下降する2楽音「sol・fa」に変えてある。

⑯「再 zhoi³ □」(音節末調値3)は、直後の「作 zhok³ □」(同3)の「fa」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「sol」をカバーでは「fa」に下げている。

6. 露雲娜 1987「手掌上的電話號碼」(薬師丸ひろ子 1984「元気を出して」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・B・A'・C・A"に分ける。

6.1

A (1~4小節目)

①	②	③	④	⑤							
											
なみ だなーどーみ せな いーつよ きな あな たをー											
①	②	③	④	⑤							
											
抱一著我小一 織腰 再翩翩 起一舞一 之後 必須 要走一											
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>											
<u>23</u> 2 <u>335</u> 5 5 3 5 5 <u>35</u> <u>23</u> 5 2 5 5 3 <u>35</u>											

に変えてある。

⑱「寫 se² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「re」をカバーでは上昇する2楽音「do・re」に変えてある。

⑲「於 yü¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

⑳「掌 zhǒng² □」(音節頭末調値35)は、「第2声(陰上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「sol」をカバーでは上昇する2楽音「fa・sol」に変えてある。

㉑「上 sǒng⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

㉒「初 chō¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

6.7

C (1～4小節目)

⑳	㉑																				
すこしやせたそのーからだににあうふくをさがして																					
⑳	㉑																				
不知怎麼 解釋你的 突然 眼光 中 似說魯莽 以默然道 歉																					
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□										
5	5	5	5	5	5	3	5	2	1	3	5	5	3	3	3	3	3	2	1	2	3

㉓「的 dik¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「fa・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

㉔「突 dat⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

6.8

C (5 ~ 8小節目)

⑫⑤	⑫⑥	⑫⑦		
				
まちへとびだせばーほらーみんな ふりかえーーる				
⑫⑤	⑫⑥	⑫⑦		
				
有這勇氣 欣賞你不 怪你有空我 一會共你通 一話				
□□□□	□□□□	□□□□	□	□
3 3 3 3	5 5 3 5	3 3 3 5	<u>23</u>	3 2 3 5
				2

⑫⑤ 「不 bat¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「fa・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

⑫⑥ 「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「fa」をカバーでは上昇する2楽音「mi・fa」に変えてある。

⑫⑦ 「通 tung¹ □」(音節末調値5)の前半は、オリジナルの上昇する2楽音「fa・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

6.9

A" (1 ~ 4小節目)

⑫⑧	⑫⑨	⑫⑩	⑫⑪	⑫⑫
				
チャンスはーなーん どでもーおと ずれて くれる はずー				
⑫⑧	⑫⑨	⑫⑩	⑫⑪	⑫⑫
				
背著 我的 影一子 一已消失街裡 一更幽靜看紛飛 雨 花				
□□ □□	□	□	□□ □□ □□	□□ □□ □□ □□
3 2	3 5	<u>35</u>	<u>35</u>	3 5 5 5 <u>23</u>
				3 5 2 3 5 5
				3 5

⑫⑧ 「的 dik¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」

⑰「眼 ngān⁵ 𠄎」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの1楽音「do」をカバーでは上昇する2楽音「do・re」に変えてある。

⑱「燙 tong³ 𠄎」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「mi・fa」をカバーでは1楽音「fa」に変えてある。

7.5

B (1～5小節目)

⑱
あ い を

⑳ ㉑ ㉒
ーとめないでー そこからーにげないでー あまい

⑱
明 月 光
𠄎 𠄎 𠄎
1 2 5

⑳ ㉑ ㉒
照 落 在 這 方 勾 起 記 憶 如 悠 悠 細 浪 那 晚
𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎
3 2 2 3 5 5 5 3 5 1 1 1 3 2 3 3

⑲「光 gwong¹ 𠄎」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「mi・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

⑳「方 fong¹ 𠄎」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「sol・la」をカバーでは1楽音「la」に変えてある。

㉑「憶 yik¹ 𠄎」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「do・re」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

7.9

B' (6~9小節目)

よるは いら ないー も う いら ないー

上 誰 柔情 一 往一 輕 撫 我 手 一 心 靈 就 像 發 光

2 1 1 1 5 23 5 5 3 35 5 1 2 2 3 5

⑲「就 zhou⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

⑳「光 gwong¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「fa・sol」をカバーでは1楽音「sol」に変えてある。

7.10

B'' (6~9小節目)

なみだを ながせば ー いいから ー

上 誰 柔情 一 往一 輕 撫 我 手 一 心 靈 蕩 漾

2 1 1 1 5 23 5 5 3 35 5 1 2 2

㉑「蕩 dong⁶ □」(音節末調値2)は、直後の「漾 yong⁶ □」(同2)の「fa[#]」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの2楽音「mi・mi」をカバーでは「fa[#]」に上げてある。

8. 王菲 1992 「容易受傷的女人」(中島みゆき 1979 「ルージュ」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・B'・A''・A'''・B''・B'''に分ける。

8.1

A (1~2小節目)

く ち を き く の が ー う ま

人 漸 酔 了 夜 更 深 在 這

□ □ □ □ □ □ □ □

1 2 3 3 2 3 5 2 3

①「深 sam¹□」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

8.2

A (3~4小節目)

く な り ー ま し た ど ん な よ い し れ た ひ

一 刻 多 麼 接 近 思 想 仿 似 在 搖 撼 矛

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

5 5 5 5 3 2 5 5 5 3 2 1 2 1

②「多 do¹□」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・si」をカバーでは1楽音「si」

8.4

A' (3~4小節目)

⑥ ⑦

く な り ー ま し た ル ー ジ ュ ひ く た び に わ

⑥ ⑦

今 天 軽 軽 貼 近 多 少 安 慰 及 疑 問 偷

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

5 5 5 5 3 2 5 5 5 3 2 1 2 5

⑥ 「軽 hing¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・si」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

⑦ 「多 do¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

8.5

B (3~4小節目)

⑧ ⑨ ⑩

つ い た こ ろ は ま だ ル ー ジ ュ は た だ ひ と 一 つ う ー

⑧ ⑨ ⑩

受 傷 的 女 一 人 不 要 不 要 不 要 驟 來 驟 去 請 珍

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 5 5 23 5 5 3 5 3 5 3 2 1 2 3 5 5

⑧ 「女 nōü⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの下降する2楽音「la・sol」をカバーでは上昇する2楽音「mi・sol」に変えてある。

⑨ 「去 hōü³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「mi・sol」をカバーでは1

楽音「sol」に変えてある。

⑩「珍 zhan¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

8.6

B' (3~5小節目)

⑩

ひとちーが いいつかなきーなれ

て

⑪

受傷的女一人不要等—這一刻請

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 5 5 23 5 5 3 35 3 5 5 5

熱 吻

□ □

2 3

⑪「女 nǚ⁵ □」(音節頭末調値23)は、「第5声(陽上)」の上昇調の調値に合うように、オリジナルの下降する2楽音「la・sol」をカバーでは上昇する2楽音「mi・sol」に変えてある。

8.9

A''' (3~4小節目)

くなりーました ころろ なじめない ひ											
始終 甘心 靠近 我方知 擁 有 著 緣 份 重											
<input type="checkbox"/>											
5 5 5 5 3 2 3 5 5 5 3 2 1 2 1											

⑮「甘 gam¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・si」をカバーでは1楽音「si」に変えてある。

⑯「我 ngo⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの「re」のまま変える必要がなかったが、オリジナルの「re」をカバーでは「mi」に上げてある。この例は、目下のところ、理由不明である。

⑰「著 zhök⁶ □」(音節末調値2)は、オリジナルの「la」のまま変える必要がなかったが、オリジナルの「la」をカバーでは「do」に上げてある。この例は、目下のところ、理由不明である。

8.10

A''' (5小節目)

と に ー で も ー			
建 我 信 心			
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
3 3 3 5			

⑱「信 sön³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの上昇する2楽音「la・do」をカバーでは1楽音「do」

に変えてある。

⑱「心 sam¹ □」(音節末調値5)は、オリジナルの上昇する2楽音「do・re」をカバーでは1楽音「re」に変えてある。

8.11

B'' (3~4小節目)

⑪	⑳	㉑
う す ぎ ー く ら お か し な い ろ と わ ら		
⑪	⑳	㉑
受 傷 的 女 一 人 終 此 一 生 也 火 般 的 熱		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
2 5 5 <u>23</u> 5 5 5 5 5 3 5 5 5 2		

⑳「也 ya⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの「sol」のまま変える必要がなかったが、オリジナルの「sol」をカバーでは「do」に上げてある。この例は、目下のところ、理由不明である。

㉑「火 fo² □」(音節末調値5)は、直後の「般 bun¹ □」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「la」をカバーでは「do」に上げてある。

8.12

B''' (3~4小節目)

⑪	㉒	㉓
う す ぎ ー く ら お か し な い ろ と わ ら		
⑪	㉒	㉓
受 傷 的 女 一 人 不 要 等 這 一 刻 請 熱 吻		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
2 5 5 <u>23</u> 5 5 3 5 3 5 5 5 2 3		

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

②「這 zhe⁵ □」(音節末調値3)は、オリジナルの「sol」のまま変える必要がなかったが、オリジナルの「sol」をカバーでは「do」に上げてある。この例は、目下のところ、理由不明である。

③「一 yat¹ □」(音節末調値5)は、直後の「刻 hak¹ □」(同5)の「do」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「1a」をカバーでは「do」に上げてある。

9. 陳慧嫻 1995「拋拋」(SMAP 1995「青いイナズマ」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・C・C'・C"に分ける。

9.1

A (1~5小節目)

①
<p style="text-align: right;">き みのー</p>
②
<p>一たい どが かわ ったと キスをー さける しぐさで きづく そうさ</p>
①
<p style="text-align: right;">争 争 氣</p> <p style="text-align: right;">□ □ □</p> <p style="text-align: right;">5 5 3</p>
②
<p>你越痛 苦他偏 看低你 鬆鬆氣 節拍令跳 豆空間 變天地 學學我開</p> <p>□□□ □□□ □□□ □□□ □□□ □□□ □□□ □□□</p> <p>3 2 3 5 5 5 3 5 3 5 5 3 3 3 2 3 5 5 5 3 5 2 2 2 3 5</p>

①「氣 hei³ □」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する3楽音「mi・re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

②「氣 hei³ 日」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する3楽音「mi・re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

9.2

A (6~9小節目)・A'(1~5小節目)

③	④	⑤														
⑥																
③	④	⑤														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">□□□□</td> <td style="text-align: center;">□□□</td> <td style="text-align: center;">□□□</td> <td style="text-align: center;">□□□</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□□□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5 5 5 3</td> <td style="text-align: center;">2 1 1</td> <td style="text-align: center;">1 3 1</td> <td style="text-align: center;">2 1 2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5 5</td> <td style="text-align: center;">5 5 3</td> </tr> </table>			□□□□	□□□	□□□	□□□	□	□	□□□	5 5 5 3	2 1 1	1 3 1	2 1 2	3	5 5	5 5 3
□□□□	□□□	□□□	□□□	□	□	□□□										
5 5 5 3	2 1 1	1 3 1	2 1 2	3	5 5	5 5 3										
⑥																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">□□□□</td> <td style="text-align: center;">□□□</td> <td style="text-align: center;">□□□□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 3 2 3</td> <td style="text-align: center;">5 5 5</td> <td style="text-align: center;">3 5 3</td> <td style="text-align: center;">5 5 3</td> <td style="text-align: center;">3 3 2 3</td> <td style="text-align: center;">5 5 5</td> <td style="text-align: center;">3 5 2 2 2 3 5</td> </tr> </table>			□□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□□	3 3 2 3	5 5 5	3 5 3	5 5 3	3 3 2 3	5 5 5	3 5 2 2 2 3 5
□□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□	□□□□										
3 3 2 3	5 5 5	3 5 3	5 5 3	3 3 2 3	5 5 5	3 5 2 2 2 3 5										

③「地 dei⁶ □」(音節末調値2)は、直前の「餘 yū⁴ □」(同1)の「re」より高くなるように、オリジナルの下降する3楽音「mi・re・do」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

④「一 yat¹ □」(音節末調値5)は、直後の「起 hei² □」(同5)の「sol」と同じ高さに揃えるように、オリジナルの「do」をカバーでは「sol」に上げてある。

⑤「氣 hei³ 日」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する3楽音「mi・re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

⑥「氣 hei³ 日」(音節末調値3)は、オリジナルの下降する3楽音「mi・re・do」をカバーでは1楽音「do」に変えてある。

9.6

C' (6~8小節目)

⑮	⑯						
まどわーせてーー You're my girl							
⑮	⑯						
拋去傷心與他 面對自己							
□	□	□	□	□	□	□	□
5	3	5	5	3	5	2	3

⑮「去 hōü³ □」(音節末調値3)の後半は、オリジナルの「sol」のまま変える必要がなかったが、直後の「mi」というより低い楽音に向かうため、オリジナルの「sol」を「mi」に下げている、と考えられる。

⑯「他 ta¹ □」(音節頭末調値53)の前半は、オリジナルの上昇する2楽音「re・mi」をカバーでは1楽音「mi」に変えてある。

10. 泳兒 2007「花無雪」(中島美嘉 2003「雪の華」)

メロディーと歌詞のパターン別に、楽曲をA・A'・B・C・C'・D・D'・C''・C'''に分ける。

10.1

C (4~5小節目)

①
そ っ て な が め て い る こ の と き に し あ

①
患 一 無 窮 沒 有 膽 一 個 到 東 京 這 麼 凍 令 我

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 1 1 2 3 5 5 3 3 5 5 3 5 3 2 3

①「患 wān⁶ □」(音節末調値2)の後半は、オリジナルの「sol[#]」のまま変える必要がなかったが、直後の「fa[#]」という、より低い楽音に向かうため、オリジナルの「sol[#]」をカバーでは「fa[#]」に下げている、と考えられる。

10.2

C'' (2~3小節目)

② ③
じ ゃ な い た だ き み と ず っ と こ の ま

② ③
望 天 空 被 你 抛 下 永 遠 不 懂 一 面 對 花

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 5 5 2 3 5 2 3 3 5 5 2 3 5

②「不 bat¹ □」(音節末調値5)は、直前の「遠 yūn⁵ □」(同3)の「sol[#]」より高くなるように、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「la[#]」に上げてある。

③「懂 dung² □」(音節末調値5)の前半は、2音前の「遠 yūn⁵ □」(同3)の「sol[#]」より低くならないように、オリジナルの「fa[#]」をカバーでは「sol[#]」に上げてある。

11. 結語

11.1

今回調査した1977年～2007年のJ-POP広東語カバー曲10曲は、全てオリジナル曲の楽音の高さを変えてある、または、オリジナル曲には無い楽音を加えてある。

尚、各曲の略称は表3の通り。

表3

1	心曲	1「心」	2	六月天	2「六」
3	紫玉墜	3「紫」	4	初戀	4「初」
5	讓一切隨風	5「讓」	6	手掌上的電話號碼	6「手」
7	明月光	7「明」	8	容易受傷的女人	8「容」
9	拋拋	9「拋」	10	花無雪	10「花」

1. 当該音節の声調と関係が有る。【計134音節】

1.1 音節末調値がオリジナルの楽音の高さに合わない。【計41音節】

1.1.1 【その1音節】 その1音節の高さを変える。【35音節】 (1「心」④・⑨・⑩・⑪, 2「六」⑦・⑰, 3「紫」⑩・⑭・⑳後・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝, 4「初」④・⑧, 5「讓」④・⑦・⑪・⑭・⑰, 6「手」⑭, 7「明」①・㉒・㉔・㉖・㉘, 8「容」㉑・㉓, 9「拋」③・④・⑦, 10「花」②・③前)

1.1.2 【数音節】 前後数音節をまとめて高さを変える。【3音節】 (9「拋」⑪～⑬)

1.1.3 前後数音節をまとめて、高さだけでなく、リズムまで変える。【計3音節】

1.1.3.1 【別部分(有)】 同じ曲の別の部分を転用する。【0音節】

1.1.3.2 【リズム】 比較的大胆に新たなリズムを創作する。【3音節】 (3「紫」⑳～㉒)

1.2 【陰平53】「第1声(陰平)」の高降調の方の調値「 \square 53」に合うように、下降する2楽音に変える。【15音節】 (1「心」⑫・⑰, 2「六」②・⑨・⑩, 3「紫」⑱・㉒・㉔, 4「初」①・②, 5「讓」⑬・⑰, 6「手」⑬, 9「拋」⑧・⑩)

1.3 【陰上35】「第2声(陰上)」の上昇調の調値「 \square 35」に合うように、上昇する2楽音に変える。【14音節】 (3「紫」④前・⑤前・㉑前, 6「手」④・⑫・⑰・⑱・㉒・㉔・㉖, 7「明」②・③・⑫・⑬)

1.4 【陽上23】「第5声(陽上)」の上昇調の調値「 \square 23」に合うように、上昇する2楽音に変える。【41音節】 (1「心」②・③・⑦・⑧, 2「六」⑥・⑭・⑰・⑱・㉒, 3「紫」⑦・⑪・㉑・㉓・④②・④⑥, 5「讓」②・⑥・⑨, 6「手」①・⑤・⑥・⑨・⑪・㉒・㉔・㉖・㉘・㉚・㉜・㉝・㉞, 7「明」④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑩・⑭・⑰・⑱・㉒・㉔・㉖, 8「容」⑧・⑪)

1.5 【音程】 直前/直後の音節との音程が広すぎる/狭すぎるので、適切な音程に調整してあ

る, と考えられる。【6音節】(3「紫」①・②・⑥・⑳・㉓・㉗, 5「讓」⑧)

1.6 【加える】オリジナルには無い楽音を加える。【17音節】(1「心」⑬, 3「紫」③・⑧・⑨・⑫前・⑬・⑰・⑱・㉒・㉕・㉖・⑳・㉓・㉗・㉙・㉚, 4「初」⑦, 7「明」㉛)

2. 当該音節の声調と関係が無い。【計87音節】

2.1 【一楽音に】上昇／下降する2(～3)楽音を1楽音に変える。【71音節】(1「心」①・⑥・⑫, 2「六」①・③・④・⑤・⑧・⑪・⑫・⑬, 3「紫」⑮・⑯, 4「初」③・⑤, 5「讓」③・⑤・⑩・⑫, 6「手」②・③・⑦・⑧・⑩・⑮・⑰・⑲・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖前・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟, 7「明」⑨・⑪・⑱・⑲・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖, 8「容」①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑨・⑩・⑫・⑬・⑭・⑮・⑱, 9「抛」①・②・⑤・⑥・⑭・⑮・㉙前)

2.2 【向かう】直後の, より高い／低い楽音に向かうため, オリジナルの1楽音または同一の高さの2楽音を, カバーでは上昇／下降する2(～3)楽音に, 或いは, 直前の楽音から直後の楽音への渡りとなる1楽音に, それぞれ変えてある, と考えられる。【11音節】(1「心」⑭前, 3「紫」④後・⑤後・⑫後, 4「初」⑥, 5「讓」①, 9「抛」⑨・⑯・⑰・⑱, 10「花」①)

2.3 【消失音】オリジナルにおける直前／直後の音を変えた結果, オリジナルのメロディーラインから消失した音を補うために, 二次的に, オリジナルにおける直前／直後の音に変えてある, と考えられる。【0音節】

2.4 【音程保つ】オリジナルにおける直前／直後の音を変えた結果, オリジナルにおけるその音との音程を保つために, 二次的に変えてある, と考えられる。【0音節】

2.5 【別部分(無)】同じ曲の別の部分を転用する。【0音節】

2.6 【不明】目下のところ, 理由不明。【5音節】(1「心」⑤, 8「容」⑯・⑰・㉑・㉒)

各曲に現われるタイプ別の音節数をまとめると, 表4の如くである(割合は小数点以下第2位を四捨五入)。

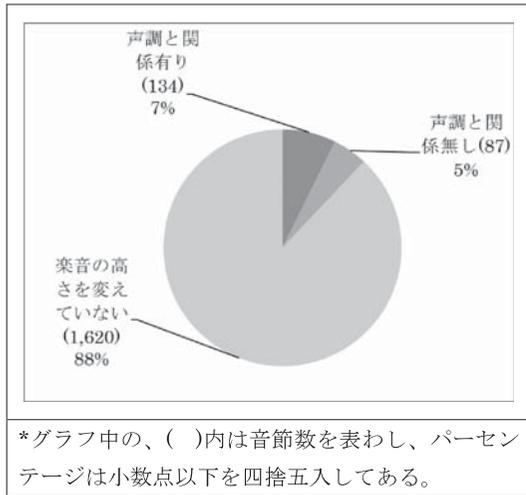
表4

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計	
		心	六	紫	初	讓	手	明	容	抛	花		
	音節数	133	211	305	128	114	179	111	182	185	293	1,841	類内割合 (%)
1. 声調と関係有り	1.1.1 その1音節	4	2	10	2	5	1	4	2	3	2	35	26.1
	1.1.2 数音節									3		3	2.2
	1.1.3.1 別部分(有)											0	0
	1.1.3.2 リズム			3								3	2.2
	1.2 陰平53	2	3	3	2	2	1			2		15	11.2
	1.3 陰上35			3			7	4				14	10.4
	1.4 陽上23	4	5	6		3	9	12	2			41	30.6
	1.5 音程			5		1						6	4.5
	1.6 加える	1		14	1			1				17	12.7
	小計	11	10	44	5	11	18	21	4	8	2	134	
割合 (%)	8.3	4.7	14.4	3.9	9.6	10.1	18.9	2.2	4.3	0.7	7.3		
2. 声調と関係無し	2.1 一楽音に	3	8	2	2	4	20	10	15	7		71	81.6
	2.2 向かう	1		3	1	1				4	1	11	12.6
	2.3 消失音											0	0
	2.4 音程保つ											0	0
	2.5 別部分(無)											0	0
	2.6 不明	1							4			5	5.7
	小計	5	8	5	3	5	20	10	19	11	1	87	
	割合 (%)	3.8	3.8	1.6	2.3	4.4	11.2	9.0	10.4	5.9	0.3	4.7	
合計	16	18	49	8	16	38	31	23	19	3	221		
割合 (%)	12.0	8.5	16.1	6.3	14.0	21.2	27.9	12.6	10.3	1.0	12.0		

「1.1.1 その1音節」は、10曲中10曲全てが有している。

「2.1 一楽音に」は、10曲中9曲が有している。

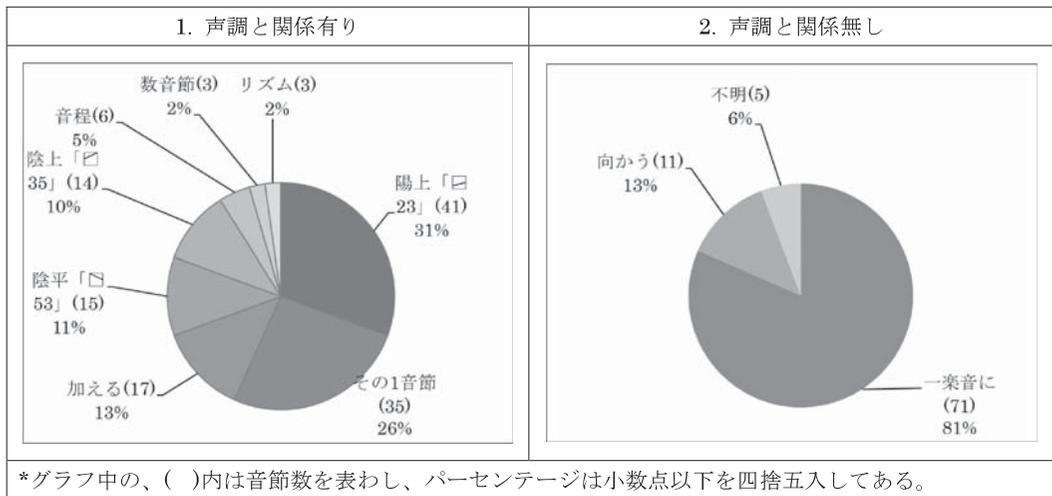
グラフ1



10曲1,841音節中、221音節(音節数合計の12.0%)がオリジナル曲の楽音の高さを変えてある。変えてある理由は、「1. 声調と関係有り」が134音節(音節数合計の7.3%),「2. 声調と関係無し」が87音節(音節数合計の4.7%)であった(グラフ1参照)。

グラフ2

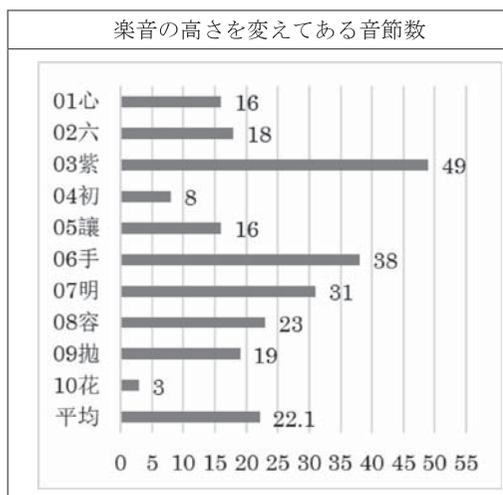
グラフ3



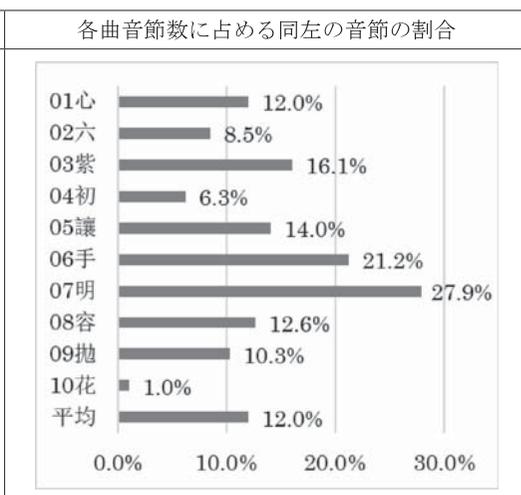
「1. 声調と関係有り」で最も多かったタイプは「1.4 陽上23」の41音節(タイプ「1.」内の割合30.6%),次いで「1.1.1 その1音節」の35音節(同26.1%)(グラフ2参照)。

「2. 声調と関係無し」で最も多かったタイプは「2.1 一楽音に」の71音節(タイプ「2.」内の割合81.6%),次いで「2.2 向かう」の11音節(同12.6%)(グラフ3参照)。

グラフ4



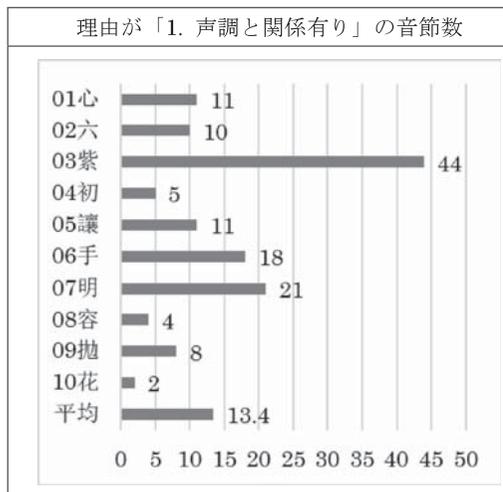
グラフ5



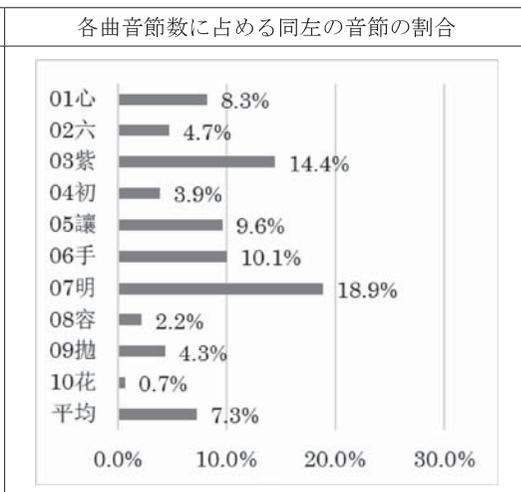
楽音の高さを変えてある音節数が、最も多かったのは3「紫」の49音節。最も少なかったのは10「花」の3音節。平均22.1音節（グラフ4参照）。3「紫」の49音節は、今回の10曲を含めた70曲の中でも突出している。

各曲音節数に対し、楽音の高さを変えてある割合が、最も高かったのは7「明」の27.9%。最も低かったのは10「花」の1.0%。平均12.0%（グラフ5参照）。

グラフ6



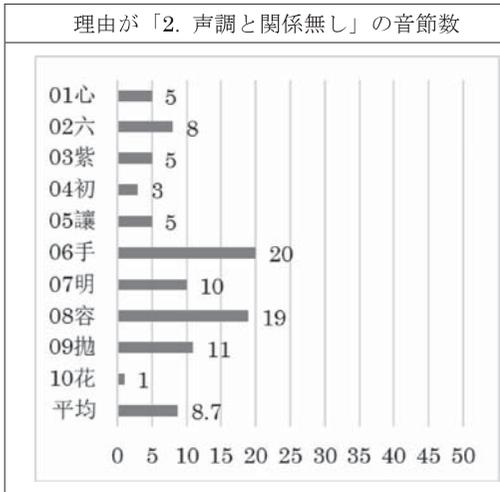
グラフ7



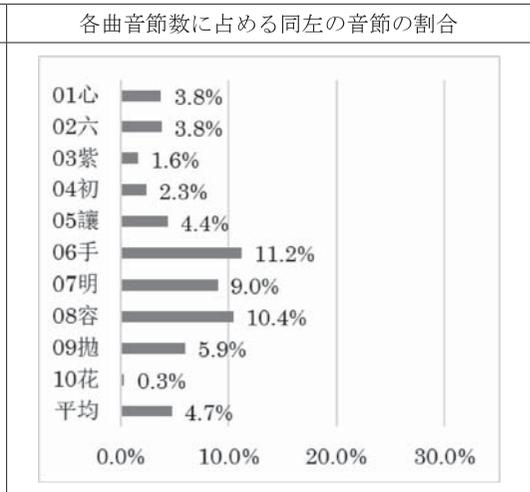
楽音の高さを変えてある理由のうち、「1. 声調と関係有り」の音節数が、最も多かったのは3「紫」の44音節。最も少なかったのは10「花」の2音節。平均13.4音節（グラフ6参照）。3「紫」の44音節は、上記同様、今回の10曲を含めた70曲の中でも突出している。

楽音の高さを変えてある理由のうち、「1. 声調と関係有り」の音節の割合が、最も高かったのは7「明」の18.9%。最も低かったのは10「花」の0.7%。平均7.3%（グラフ7参照）。

グラフ8



グラフ9



楽音の高さを変えてある理由のうち、「2. 声調と関係無し」の音節数が、最も多かったのは6「手」の20音節。最も少なかったのは10「花」の1音節。平均8.7音節（グラフ8参照）。

楽音の高さを変えてある理由のうち、「2.」の音節の割合が、最も高かったのは6「手」の11.2%。最も低かったのは10「花」の0.3%。平均4.7%（グラフ9参照）。

今回は「陽上23」タイプと「陰上35」タイプが目立った。

「陽上23」タイプが多かったのは、7「明」の12音節、6「手」の9音節。その曲の「1. 声調と関係有り」の音節数に占める割合は、7「明」は57.1%、6「手」は50.0%。

「陰上35」タイプが多かった曲は、6「手」の7音節、7「明」の4音節。その曲の「1. 声調と関係有り」の音節数に占める割合は、6「手」は38.9%、7「明」は20.0%。

「陽上23」タイプと「陰上35」タイプを合わせた音節数が多かった曲は、6「手」と7「明」の16音節。その曲の「1. 声調と関係有り」の音節数に占める割合は、6「手」は88.9%、7「明」は76.2%で、約8～9割を占めた。

11.2

「音程」タイプについて、これまでの例に、今回新たに見つかった以下の例、

音節末調値5－同2（調値差3）

「長2度」（半音3個）では狭すぎるので、「完全5度」（半音8個）に広げてある、と考えられる。

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

ex. 「給 kap¹ □」(音節末調値5) - 「我 ngo⁵ □」(音節頭末調値23) (3「紫」①・②)

を加えると(囲み部分), 表5の如くなる。(表中では, ×から○に調整していることを示す。)

表5

音程	半音の数	十二平均律の値 ¹⁰⁾	音節末調値の組合せ																	
			5-1	5-2		5-3	3-2		2-1											
			調値差	3		2	1		1											
			4	3		2	1		1											
			1.50	1.49		1.26	1.18		1.01											
短7度	11個	1.78	○																	
長6度	10個	1.68	↑																	
短6度	9個	1.59	×																	
完全5度	8個	1.50		○	○	○														
増4度	7個	1.41		↑	↑	↑														
完全4度	6個	1.33			×															
長3度	5個	1.26		×																
短3度	4個	1.19																		
長2度	3個	1.12																		
短2度	2個	1.06																		
完全1度	1個	1.00																		

注

- 1) 北京大学中文系2003, 千島1991参照。調値は五度法(最高を5, 最低を1とする5段階)で示す。□の中は調値のイメージを表す。尚, 本文中で発音を示すローマ字は千島式を用いる。
- 2) 「陰平」は高平でも高降でも可。
- 3) 抽稿 (1)~(5) (2010~2014) および (7) (2018) で調査対象とした60曲は, 以下の通り。

No.	カバー曲			オリジナル曲		
	年	曲	歌手	年	曲	歌手
1	1985	搖擺口紅	林憶蓮	1984	Rock'n Rouge	松田聖子
2	1985	愛情 I Don't Know	林憶蓮	1985	天使のウィンク	松田聖子
3	1989	再會	關淑怡	1978	オリビアを聴きながら	杏里
4	1989	給我親愛的	張學友	1979	いとしのエリー	サザンオールスターズ
5	1990	每天愛你多一些	張學友	1990	真夏の果実	サザンオールスターズ
6	1992	我的親愛	黎明	1992	もう恋なんてしない	槇原敬之
7	1994	陽光路上	黎瑞恩	1993	大切なあなた	松田聖子

名古屋学院大学論集

8	2000	其實我很擔心	蘇永康	2000	TSUNAMI	サザンオールスターズ
9	2000	一生中一個你	鄭伊健	2000	桜坂	福山雅治
10	2000	留座	陳慧琳	2000	be alive	小柳ゆき
11	1993	唯獨你是不可取替	許志安	1992	世界中の誰よりきっと	中山美穂&WANDS
12	1994	廿世紀的戀人們	鄭伊健	1991	ラブ・ストーリーは突然に	小田和正
13	1995	誰令你心痴	張國榮 陳潔靈	1985	恋におちて - Fall in love -	小林明子
14	1995	留住夏季的風	孫耀威	1995	碧いうさぎ	酒井法子
15	1998	悠長假期	譚耀文	1996	LA・LA・LA LOVE SONG	久保田利伸 with ナオミキャンベル
16	1998	AHHHHH!	黎明	1998	AHHHHH!	久保田利伸
17	1999	DEPARTURES	葉佩雯	1996	DEPARTURES	globe
18	1999	Can you celebrate?	葉佩雯	1997	CAN YOU CELEBRATE?	安室奈美恵
19	2000	我的命運	梁漢文	1999	Squall	福山雅治
20	2001	我還記得我是誰	陳慧珊	1999	あなたのキスを数えましょう - You were mine -	小柳ゆき
21	1984	捕風の漢子	譚詠麟	1983	メリーアン	ALFEE
22	1984	酒紅色的心	譚詠麟	1983	ワインレッドの心	安全地帯
23	1986	癡情意外	陳慧嫻	1985	碧い瞳のエリス	安全地帯
24	1986	藍雨	張學友	1986	レイニーブルー	徳永英明
25	1989	Don't Say Good Bye	譚詠麟	1987	輝きながら...	徳永英明
26	2003	環遊世界	SKY	1998	夜空ノムコウ	SMAP
27	2003	冒險後樂園	SKY	2003	世界に一つだけの花	SMAP
28	2003	不死傳說	陳奕迅	2003	メリッサ	ポルノグラフィティ
29	2005	閉目入神	鄭中基	2004	瞳をとじて	平井 堅
30	2006	3+1=1	Sunboy'z	2006	PRECIOUS ONE	KAT-TUN
31	1984	愛的替身	譚詠麟	1983	想い出がいっぱい	H ₂ O
32	1994	愛的故事（上集）	孫耀威	1993	ロード	THE 虎舞竜
33	1995	正在愛	陳曉東	1995	シーソーゲーム ～勇敢な恋の歌～	Mr. Children
34	1999	Feel Like dance	葉佩雯	1995	Feel Like dance	globe
35	1999	Can't Stop Falling in Love	葉佩雯	1996	Can't Stop Fallin' in Love	globe
36	2004	假如我是假的	蕭正楠	2003	さくら（独唱）	森山直太朗
37	2007	我信	王友良	2006	Precious	伊藤由奈
38	2008	陰天假期	衛 蘭	2005	Endless Story	伊藤由奈
39	2009	給自己的信	鍾舒漫	2008	手紙 ～拝啓 十五の君へ～	アンジェラ・アキ
40	2010	再見不再見	陳柏宇	2009	僕は君に恋をする	平井 堅
41	1987	太陽星辰	張學友	1987	BIRDS	徳永英明
42	1991	壯志驕陽	張學友	1990	愛は勝つ	KAN
43	1991	Oh! 夜	黎明	1991	Oh! Yeah!	小田和正
44	1992	一夜傾情	黎明	1984	恋の予感	安全地帯
45	1992	紅日	李克勤	1991	それが大事	大事MANブラザーズ バンド
46	1992	喜歡你是你	許志安	1992	涙のキッス	サザンオールスターズ
47	1993	Chotto 等等	鄭秀文	1993	チョット	大黒摩季
48	1994	心血	許志安	1993	翼を広げて	DEEN
49	1994	陽光	黎明	1993	All My Loving	福山雅治

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

50	1994	朋友心	許志安	1994	空と君のあいだに	中島みゆき
51	1984	逝去的愛	梅艷芳	1979	ラブ・イズ・オーヴァー	歐陽菲菲
52	1984	H ₂ O	張國榮	1980	TOKIO	沢田研二
53	1984	MONICA	張國榮	1984	モニカ	吉川晃司
54	1985	第一次約會	林憶蓮	1983	時をかける少女	原田知世
55	1992	胡思亂想	陳慧嫻	1971	さらば恋人	堺 正章
56	1992	情人知己	葉倩文	1981	男と女	チャゲ&飛鳥
57	1993	若你真愛我	王 菲	1981	悪女	中島みゆき
58	1994	懲罰你	黎 姿	1983	春なのに	柏原芳恵
59	2005	只要你愛我	鄭中基	2004	彩～Aja～	サザンオールスターズ
60	2010	原諒我要高飛	陳柏宇	2009	YELL	いきものがかり

- 4) 「長2度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音3個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「re」を終点とする音程。ここでは、「fa[#]」を起点として、下に向かって「mi」を終点とする音程。
- 5) 「完全5度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音8個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「sol」を終点とする音程。ここでは、「sol[#]」を起点として、下に向かって「do[#]」を終点とする音程。
- 6) 「長2度」については、4) 参照。ここでは、「fa[#]」を起点として、下に向かって「mi」を終点とする音程。
- 7) 「長3度」とは、起点から終点まで、起点と終点を含めて数えて、半音5個分の音程を指す。例えば、「do」を起点として上に向かうと、「mi」を終点とする音程。ここでは、「sol[#]」を起点として、下に向かって「mi」を終点とする音程。
- 8) 「長2度」については、4) 参照。ここでは、「do」を起点として、下に向かって「si^b」を終点とする音程。
- 9) 「長3度」については、7) 参照。ここでは、「re」を起点として、下に向かって「si^b」を終点とする音程。
- 10) 「十二平均律」とは、1オクターブ（例えば、「do」から一つ上の「do」まで）を12等分した音程。小数点以下第3位を四捨五入。

参照文献 (参照文献は発行年順に並べた。)

- 石桁真礼生・丸田昭三・金光威和雄・末吉保雄・飯田隆・飯沼信義 1965『楽典 理論と実習』, 音楽之友社。
- 下中邦彦 編集発行 1983『音楽大事典』第5巻, 「平均律」の項, 平凡社。
- 張丹 主編 1984《中文多用字典》, 天宇圖書公司出版。
- Marjorie K.M. Chan 1987 “Tone and Melody in Cantonese”, Berkeley Linguistic Society, Proceeding of the 13th Annual Meeting, 1987, pp.26-37, U.S.A.。
- 千島英一 1991『標準広東語同音字表』, 東方書店。
- 香港・萬里機構出版有限公司+東方書店 1996『広東語辞典 ポケット版』, 東方書店。
- 白宛如 1998《廣州方言詞典》, 江蘇教育出版社。
- 張双庆、林建平 1999《香港话音档》, 上海教育出版社。
- スティーブン・マッシュューズ&ヴァージニア・イップ 2000『広東語文法』, 千島英一&片岡新訳, 東方書店。(Stephen Matthews and Virginia Yip 1994 “Cantonese: A Comprehensive Grammar” の日本語訳。)
- 北京大学中文系 2003《汉语方音字汇》(第二版重排本), 语文出版社。
- 千島英一 2005『東方広東語辞典』, 東方書店。

Ho, Wing See Vincie 2006 “The tone-melody interface of popular songs written in tone languages”, 9th International Conference on Music Perception and Cognition, 2006, pp.1414-1422, Italy。

矢部公啓2008『カラオケ・ファンに贈る 音楽用語解説』, ドレミ楽譜出版社。

飯田真紀2009「広東語の歌の話」, 『TONGXUE』第38号, pp.16-19。

劉扳盛2010《廣州話普通話詞典》, 商務印書館。

樋口勇夫2010「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』22-1, pp.17-40。

樋口勇夫2011「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(2)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』23-1, pp.33-62。

麥耘、譚步雲2011《實用廣州話分類詞典》, 商務印書館。

樋口勇夫2013a「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(3)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』24-2, pp.83-125。

樋口勇夫2013b「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(4)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』25-1, pp.13-58。

樋口勇夫2014「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(5)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-1, pp.21-57。

樋口勇夫2015a「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(1)~(5)まとめ(その1)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』26-2, pp.45-86。

樋口勇夫2015b「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(1)~(5)まとめ(その2)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』27-1, pp.11-49。

樋口勇夫2016「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(6) —共通語カバー曲と比較して—」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』28-1, pp.41-53。

樋口勇夫2018「J-POP広東語カバー曲における声調の楽音への影響(7)」, 『名古屋学院大学論集一言語・文化篇一』30-1, pp.1-44。

音源および歌詞の資料

カバー曲

No.	曲名	歌手	作詞	編曲	年	レーベル	所収アルバム
1	心曲	甄妮	鄭國江	顧嘉輝	1977	海山唱片	You Tubeより
2	六月天	陳秋霞	鄭國江	—	1978	Polydor	『第二道彩虹』(1978)
3	紫玉墜	張德蘭	盧國沾	周啟生	1982	Crown	『情若無花不結果』(1982)
4	初戀	林志美	鄭國江	鮑比達	1984	Sony Music Entertainment Hong Kong	『什麼是緣份』(1984)
5	讓一切隨風	鍾鎮濤	黃霑	陳樂中	1987	Poly Gram	『聽濤』(1987)
6	手掌上的電話號碼	露雲娜	向雪懷	盧東尼	1987	Polydor	『'87 露雲娜』(1987)

J-POP 広東語カバー曲における声調の楽音への影響 (8)

7	明月光	劉彩玉	不明	不明	1991	Cinepoly	You Tubeより
8	容易受傷的 女人	王菲	潘源良	盧東尼	1992	Cinepoly	『Coming Home』 (1992)
9	拋拋	陳慧嫻	周禮茂	唐奕聰	1995	Poly Gram	『Welcome Back』 (1995)
10	花無雪	泳兒	林 夕	Adam Lee	2007	Emperor Entertainment Group	『花無雪』(2007)

オリジナル曲

No.	曲名	歌手	作詞	作曲	年	レーベル
1	勝手にしやがれ	沢田研二	阿久 悠	大野克夫	1977	ポリドール
2	木綿のハンカチーフ	太田裕美	松本 隆	筒美京平	1975	CBSソニー
3	さよなら	オフコース	小田和正	小田和正	1979	東芝EMI
4	初恋	村下孝蔵	村下孝蔵	村下孝蔵	1983	CBSソニー
5	時の過ぎゆくままに	沢田研二	阿久 悠	大野克夫	1975	ポリドール
6	元気を出して	薬師丸ひろ子	竹内まりや	竹内まりや	1984	東芝EMI
7	愛を止めないで	オフコース	小田和正	小田和正	1979	東芝EMI
8	ルージュ	中島みゆき	中島みゆき	中島みゆき	1979	ポニー・キャニオン
9	青いイナズマ	SMAP	森 浩美	林田健司	1995	ビクター エンタテインメント
10	雪の華	中島美嘉	Satomi	松本良喜	2003	ソニー・ミュージック アソシエイテッド レコーズ

付記

本稿執筆にあたり、広東語の3つの語彙の声調についてご教示を賜った、千島英一先生（元熊本大学大学院教授）・飯田真紀准教授（首都大学東京）、および、今回も楽譜についてご助言を賜った、元本学職員でオルガニストの有田知子氏に、感謝申し上げたい。（但し、楽譜に間違いがある場合は、全て筆者の責任に帰する。）